

平成17年度春学期 島根県立大学「21世紀・地球講座」開講科目

テーマ：深まる世界・日本・島根の絡み合い

会場A: 島根県立大学講義・研究棟 中講義室5

会場B: 島根県立浜田高等学校

【講座1】日本をどうする、島根をどうする-人口減少への対応-

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
1	堀内 好浩	グローバル化とIT革命	「グローバル化」と「IT革命」は20世紀最後の10年の「2つの革命」で、この大革命の本番は、実はこれから始まろうとしている。起ころうとしている変化に個人がどのように立ち向かったらよいのかについて解説する。	4/16 (土) 13:30~15:00 会場：B
2	田嶋 義介	三位一体改革とは	三位一体改革で、島根県の財政が危機に陥り、福祉や農業関係費が削減され、私たちの生活まで影響を与えようとしている。しかし、三位一体改革の狙いの一つには、補助金削減をして、その分を地方に税源移譲をして、地方の自由度を高めることにあった。なぜそうならないのか。日本の中央集権システムの病理がそこにのぞいている。	4/23 (土) 11:30~12:30 会場：B
3	高橋 睦子	ジェンダー課題島根における男女共同参画社会	日本では1999年の男女共同参画社会基本法の制定を通じてジェンダー平等への社会的関心が高まりつつある。この講義では、ジェンダーというキーワードについて、学問的な概念としての意味と政策上の位置付けについて解説し、島根県における男女共同参画社会の展望を考える。	5/14 (土) 13:30~15:00 会場：A
4	堀内 好浩	若者を取り巻く社会環境と若年者の雇用問題	21世紀を迎えた日本社会は大きな転換期にたっている。それは将来生活の不安といった深刻な社会問題として具現化しつつある。そして日本の若者に対し、深刻な就職難といった大きな社会問題となっている。新規卒学生の就職問題に焦点をあててどうしたらよいか解説する。	5/21 (土) 13:30~15:00 会場：B
5	井上 定彦	人口減少社会と日本経済の将来	日本はいずれの先進国も経験したことのない、「人口減少社会」に2007年から突入する。島根県はそれに先立ってすでに人口減少社会に入っている。長期的な成長力の低下や地域社会の活力低下にいかに対応するか。最新のデータで日本経済と島根の可能性を考える。	5/28 (土) 13:30~15:00 会場：A
6	井上 定彦	21世紀の人材育成と教育システムの改革	21世紀の産業と地域は「知価社会」といわれるように、すでに先進経済水準に到達した国をはじめとして、急激に変容してゆく「知識」が「付加価値創造の源泉」となる。基礎・基本の知的体力と「何歳になっても」知識の自己革新が可能な教育システムが高等教育を含めて求められ、教育現場の全面にわたる改革が進められはじめている。	6/4 (土) 13:30~15:00 会場：A

【講座2】北東アジアを見つめる

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
7	尹 芝恵 (ユン シェ)	日本絵画の中の朝鮮通信使	江戸時代の日本と朝鮮の間には、朝鮮通信使という使節団を介した交流の歴史があった。日本ではそれを題材にして屏風や浮世絵などの絵画作品が数多く制作された。それらから垣間見える、交流の実像、あるいは日本人がもっていた朝鮮観（朝鮮人観）について述べる。	6/11 (土) 13:30~15:00 会場：A
8	瓜生 忠久	“冬のソナタ”と日・韓の映画放送事情	テレビ・ドラマ「冬のソナタ」から始まった“韓流ブーム”。よく観てみると、日本人と韓国人の生活観やものの考え方は、非常によく似ている。『映画作品・放送番組・ビデオ映像作品は、現実の社会を何らかの形で反映しているし、作る側と観る側の間に共通した感動のコミュニケーションも、そこから生まれる』ことを検証する。	6/18 (土) 13:30~15:00 会場：A
9	陳 仲奇	北東アジアにおける中国の視点から	表面上経済発展が著しく、順風満帆に見える中国にもさまざまな矛盾が内包されている。北東アジア地域にあって21世紀の中国はどこに向かおうとしているのだろうか？ここでは中国側の視点からこの問題を取り上げる。下記別枝行夫さんの講座と組み合わせることを聴講して下さい。	6/25 (土) 13:30~15:00 会場：A
10	別枝 行夫	北東アジアにおける中国の視点から	「政冷経熱」=日中両国関係が経済関係では非常に順調なのに、政治面では冷えてきていることを表す中国語である。北東アジアにおける中国の現状を、日本側の視点に立ち、主に日中関係を軸に考えよう。上記陳仲奇さんの講座と対を成す講座ですので両方を聴講されることをお勧めします。	7/2 (土) 13:30~15:00 会場：A
11	井上 治	近・現代のモンゴルと日本	前世紀初頭から最近に至るまでのモンゴル（とくにモンゴル〔人民共和国〕）と日本の関係の歴史を概観する。また、第二次世界大戦前のモンゴル人居住地域に足を踏み入れた日本文化人についても触れてみたい。与謝野晶子、保田與重郎、出口王仁三郎、服部四郎の内から数名を取り上げる予定である。	7/9 (土) 13:30~15:00 会場：A
12	ワジム・シローコフ	新生ロシアと日本—共通の価値観をもとめて	ロシア、日本両国民の友好的な関係の基礎を固めた日ロ通好条約が調印されてから150年がたった今、日ロ双方は不信と疑念の心理を克服するためにすべきことを議論する。	7/16 (土) 13:30~15:00 会場：A